

活力あるまちづくり
寺泊地域委員会(産業等分科会)活動内容

22. 3.16 伊藤 分科会代表

1. テーマ

分科会では、市長に提案するテーマを「海の寺泊」ブランドの確立…[人と自然と歴史が融合した活力あるまちづくり]をメインテーマに基づき、協議した結果、3項目に絞り込む。

- [1]「海の寺泊」人と自然と歴史が融合した活力あるまちづくり
- [2]農業、漁業、観光の連携(グリーン・ツーリズム)
- [3]特産品の開発と地域ブランドづくり

2. 経過

- ・ 具体的テーマとして提案されている
 - [1]「海の寺泊」人と自然と歴史が融合した活力あるまちづくり
- ・ 内容は、長岡市内から寺泊の幹線道路の整備を含め、海水浴場、魚の市場通り、漁業、釣り場、キャンプ場、広大な砂浜等を整備する「海の寺泊」人と自然と歴史が融合した活力あるまちづくりを検討する。
- ・ 構想は今後、具体的に時間をかけ、関係者の理解を得ながら分科会のテーマとして、検討事項とした。
- ・ 構想のエリアが広いため、まずはエリアをせばめて関係者と話し合うなど協議をし、それをつなぎあわせて寺泊独自のものをつくり上げるため協議する。
- ・ 「寺泊のにぎわいづくり」の意見と「海の寺泊」人と自然と歴史が融合した「活力あるまちづくり」の協議内容を情報交換しながら、このテーマを具体化したい。
- ・ 「寺泊のにぎわいづくり」を話し合っている計画も、すり合わせながら、市長への提案としたい。

【整備コンセプト】

歴史と文化の回廊ゾーン “豊かな自然と潮風がはこんだ歴史と文化に育まれた北の鎌倉”
(河岸段丘の中腹部から上部に神社仏閣等、史跡が点在しているので、史跡巡りとこれらの施設を繋ぐ遊歩道整備を行う)

自然とのふれあいゾーン “豊かなみどりと多様な生き物の生息空間”
(寺泊の山林は、色々な希少植物や昆虫が多く生息しているので、種の保存と観察を行うための歩道を整備する)

夏戸城ロマンへの誘いゾーン “上杉二十五将のひとり直江兼継の与力 志田義秀の山城”
(天地人で名高い直江兼継の戦略を受け継ぎ、海運を利用した流通産業を盛り上げるための拠点を再現する)

みのりの里ゾーン “トキの舞う人と自然にやさしいゆうき農業”

- ・トキ分散飼育エリア (寺泊は佐渡の地形と似ている处が多く、山林と田畑が入組んでいる地形のため、みどり豊富な自然が多い事から、トキの餌となる水生昆虫や魚が住み着く環境が作りやすい)

大河津分水口ゾーン “先人の英知と情熱大河ロマン”

(先人、旧守門村、湯之谷村の人足の人たちによって、人工的に作られた河道を、現代の技術によって拡張補強し、市民が安心し安全に暮らせる環境整備を行う)

海辺の交流拠点ゾーン

◆西海岸地区 “荒波と歴史に刻まれた地区”

(水族館を筆頭に、海の沖には浸食防止のための離岩堤を整備し、内海は海洋生物や小魚の魚影を観察できるエリアを整備する)

◆港湾地区 “日本海の恵みを楽しみ、海に拓く地区”

- ・陸上スポーツゾーン
- ・マリーナゾーン
- ・商業ゾーン
- ・バスターミナルゾーン
- ・親水ゾーン
- ・文化ゾーン
- ・教養保養ゾーン
- ・海水浴ゾーン (中央海水浴場)

◆東海岸地区 “海と遊び、海の息吹に触れながら心と安らぐ地区”

(キャンプ場・オートキャンプ場等自然の中で家族や友達等で楽しく過ごせるエリアを整備する)

- ◇野積海岸地区 “美しい海,陽気で明るくマリンスポーツと賑わいの地区
- ・海洋性レクリエーションゾーン (サーフボード・サーフィン等のマリンスポーツ等を楽しむためのエリア整備)
 - ・賑わいの浜辺ゾーン (マリンスポーツを行う人たちのために、休憩施設・トイレ・駐車場・ショップ等を整備する)
 - ・しおさいのプロムナードゾーン (海岸林を活用し、森林浴を行うための散策路を整備する)
 - ・海水浴ゾーン (野積海水浴場)

■ 寺泊地区 まちづくりの提案

「海の寺泊」 人と自然と歴史が融合した活力あるまちづくり

